

資料・統計

2011年入院がん患者統計

Statistics of Cancer Inpatients in 2011

新潟県立がんセンター新潟病院
情報調査部 病歴室

2011年の入院がん患者の基礎資料

(表1, 図1)

2011年に新規がん登録された患者実数は2,800人、疾患数(延数)は2,894人であり、前年よりも150例程増加していた。当院のがん登録数は2001年以降、年に数百人ずつのペースで右肩上がりの増加を続けていた。2007年をピークに減少に転じたものの、2009年以降は再び増加傾向がみられる。

部位別がん登録数の推移(表2, 図2)

部位別にみた新規がん登録数の上位10がんの推移を図2に示す。上位4がんまでは前年と同様であり、肺がん(463, 前年比+34)、胃がん(386, 前年比+20)、乳がん(341, 前年比+8)、前立腺がん(260, 前年比+48)の順であったが、第5位が結腸がんから膀胱がん(142, 前年比+20)に入れ替わった。前立腺と合わせて泌尿器系のがんの増加が顕著となっている。

全入院患者に占めるがん患者数

(表3, 表4, 図3, 表5)

2011年に入院診療を行ったがん患者実数は4,183人(前年比+182)と増加したが、延数ベースでは9,133人(前年比-51)と逆に減少していた。実数ベースでの増加は新規がん登録数の増加をそのまま反映し、延数の減少はDPCでの一部高額薬剤の包括化に伴って化学療法による反復入院が減っているためと思われる。

総入院患者数に占めるがん患者数の割合は、実数

ベースで68.6%、延数ベースで82.1%と前年とほぼ同様であった。図3にこれまでの推移を示す。入院患者実数での増加に比べて延数の増加が著しいのは、短期入院による化学療法の導入を反映している。表5にみるように診療科によってかなりの違いはあるものの、当院全体としてはがん診療への特化傾向が強くなっていることが分かる。

病類別在院日数(表6)

がん(新生物)患者の平均在院日数は14.1日と、前年よりも若干延長していた。当院は全国のがんセンター群の中でも平均在院日数が短いのが特徴である。

予後調査結果(図4)

2010年までの50年間に登録された61,458名のがん患者の内、登録後20年未満の患者は39,425名であった。その内すでに病歴室もしくは新潟県がん登録で死亡が確認されている患者を除き、1年以上来院歴がない4,204名に対して郵送による直接照会を行った。回答数は3,093通(73.6%)で、未回答1,111名については法務局の許可を得て本籍地の市町村へ戸籍照会をかけたが、33例の消息が不明であった。予後判明率は $39,392 / 39,425 = 99.9\%$ であった。生存率データについては当院ホームページで公開している(<http://www.niigata-cc.jp/contents/disease/sippeitoukei.html>)。

(文責 竹之内辰也)

表1 2011年入(退)院がん患者統計

2011年の入院がん患者の基礎資料

1. 2011年新規がん登録患者数 (実数).....	2,800
2. 2011年のがん登録疾患数 (延数).....	2,894
内訳：本年初登録で単疾患	2,457例, 2,457疾患
本年初登録で複数疾患	84例, 170疾患
既登録で本年初発疾患	259例, 267疾患
3. 2011年の入院がん患者実数.....	4,183
(前年までの登録患者も含む)	
4. 2011年の入院がん患者延数.....	9,133
(前年までの登録患者も含む)	
5. 2011年の総入院患者実数.....	5,632
6. 2011年の総入院患者延数.....	11,120

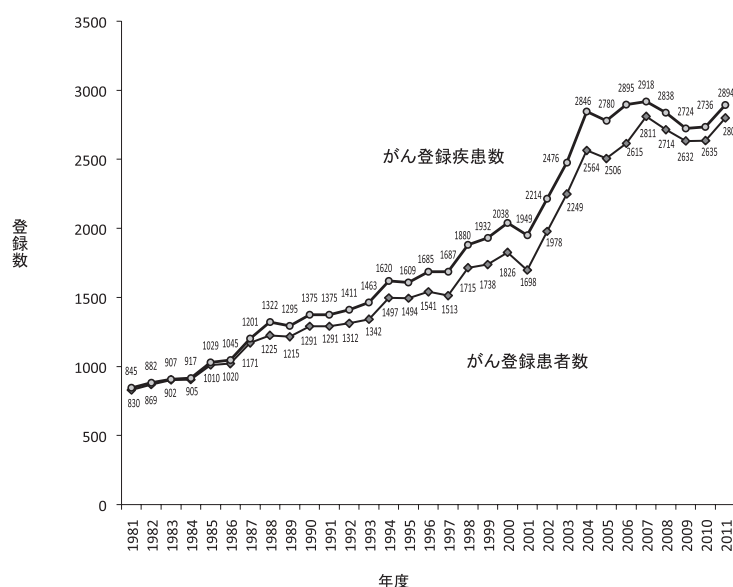


図1 院内がん登録数の年次推移

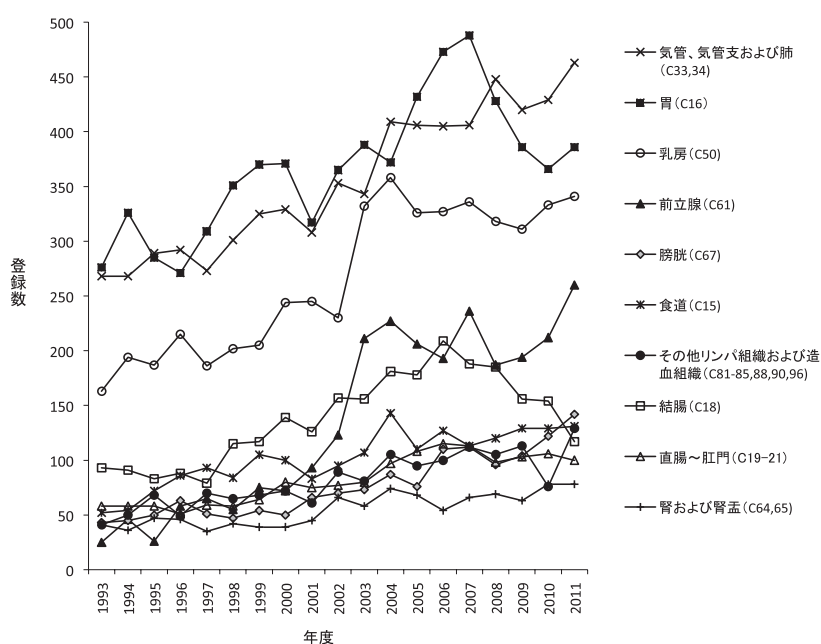


図2 がん登録数の年次推移 (上位10がん)

表2 部位別がん登録数の推移（実数）

部位等（ICD10）	2009年					2010年					2011年				
	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数	入院患者実数	男	女	入院患者延数	新規がん登録数
口唇、口腔および咽頭の悪性新生物（C00～C14）	62	46	16	104	37	74	53	21	141	45	60	48	12	98	43
食道の悪性新生物（C15）	187	161	26	454	129	183	156	27	426	129	202	169	33	385	131
胃の悪性新生物（C16）	470	322	148	803	386	431	300	131	897	366	467	335	132	945	386
小腸の悪性新生物（C17）	12	7	5	18	4	7	3	4	9	7	7	3	4	12	3
結腸の悪性新生物（C18）	228	126	102	362	156	196	92	104	333	154	165	100	65	264	117
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物（C19～C21）	143	102	41	243	103	151	107	44	242	106	144	96	48	215	100
肝および肝内胆管の悪性新生物（C22）	73	52	21	154	39	62	47	15	139	35	52	38	14	85	25
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物（C23,C24）	52	36	16	105	34	49	27	22	127	36	41	30	11	111	32
膵の悪性新生物（C25）	86	51	35	161	61	97	55	42	163	71	103	61	42	177	72
その他消化器および腹膜の悪性新生物（C26,C48,C45.1）	7	3	4	31	2	10	4	6	27	7	15	3	12	71	7
喉頭の悪性新生物（C32）	45	42	3	75	27	41	40	1	63	20	30	29	1	49	19
気管、気管支および肺の悪性新生物（C33,C34）	673	475	198	1426	420	650	440	210	1406	429	702	492	210	1595	463
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物（C30,C31,C37～C39,C45.0,C45.2）	24	14	10	55	13	20	12	8	47	9	25	15	10	47	19
骨および関節軟骨の悪性新生物（C40,C41）	16	13	3	49	10	12	9	3	41	3	13	8	5	32	4
皮膚の悪性新生物（C43,C44,C46）	81	40	41	102	70	77	45	32	109	63	71	33	38	105	55
乳房の悪性新生物（C50）	511	1	510	2443	311	519	3	516	1890	333	495	1	494	1454	341
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物（C47,C49）	34	18	16	90	19	38	22	16	99	21	27	19	8	78	13
子宮頸の悪性新生物（C53）	91		91	226	62	81	0	81	205	53	75	0	75	176	53
その他子宮の悪性新生物（C54,C55）	77		77	263	50	76	0	76	283	50	96	0	96	321	73
その他女性生殖器の悪性新生物（C51,C52,C56～C58）	109		109	387	53	116	0	116	437	67	103	0	103	435	47
前立腺の悪性新生物（C61）	243	243		442	194	264	264	0	328	212	309	309	0	364	260
膀胱の悪性新生物（C67）	201	147	54	322	104	227	176	51	382	122	261	214	47	460	142
腎および腎盂の悪性新生物（C64,C65）	99	69	30	163	63	100	77	23	158	78	106	72	34	204	78
その他の泌尿生殖器の悪性新生物（C60,C62,C63,C66,C68）	55	46	9	94	45	53	47	6	105	37	70	57	13	147	54
脳の悪性新生物（C71）	6	4	2	8	5	10	6	4	13	4	13	7	6	19	12
その他および部位不明の悪性新生物（C69,C70,C72～C80）	110	34	76	224	64	120	52	68	203	76	124	50	74	205	78
再掲 [甲状腺（C73）]	76	18	58	88	50	82	27	55	102	47	96	32	64	123	62
白血病（C91～C95）	99	69	30	282	56	81	52	29	252	31	97	67	30	276	38
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物（C81～C85,C88,C90,C96）	203	124	79	700	113	158	79	79	559	76	208	92	116	699	129
上皮内癌（D00～D09）	97	5	92	100	94	98	9	89	100	96	102	5	97	104	100
計	4,094	2,250	1,844	9,886	2,724	4,001	2,177	1,824	9,184	2,736	4,183	2,353	1,830	9,133	2,894

※入院患者実数、入院患者延数：前年までに登録された患者も含む

表3 入院がん患者実数の年次推移（実数および割合）

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
入院がん患者実数	3,918	4,081	4,176	4,115	4,094	4,001	4,183
%	66.5	68.3	68.5	69.2	69.2	67.1	68.6
疾患別患者実数	5,894	5,975	6,098	5,948	5,914	5,963	6,097

表4 入院がん患者延数の年次推移 (延数および割合)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
入院がん患者延数	9,124	9,417	9,506	9,405	9,886	9,184	9,133
%	81.3	82.5	82.6	83.1	83.9	82.1	82.1
疾患別患者延数	11,217	11,413	11,515	11,314	11,787	11,186	11,120

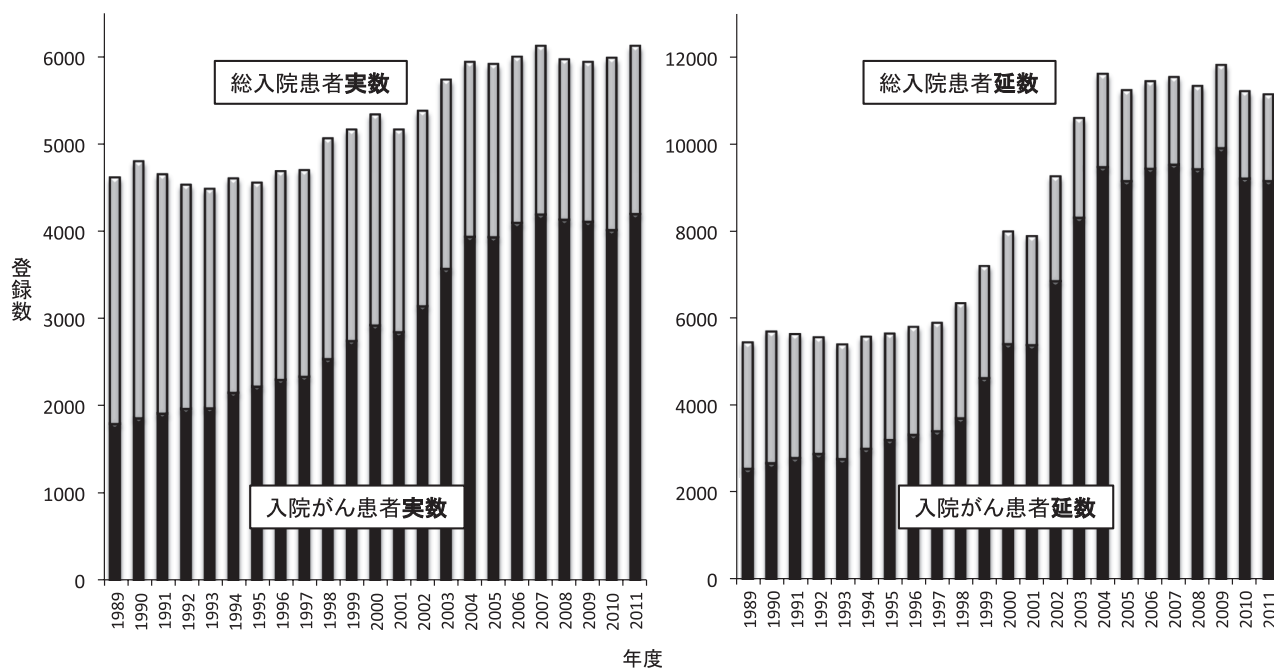


図3 入院患者に占めるがん患者数の年次推移

表5 診療科別がん患者割合 (延べ数, 重複あり, 死亡・剖検は実数)

診療科	がん患者数	(%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
				がん	総数	がん	総数
内科	2,518	(84.0)	2,999	169	199	9	9
神経内科	1	(4.3)	23	1	2		
小児科	199	(85.8)	232	1	1	1	1
耳鼻咽喉科	224	(71.8)	312	10	10		
外科	2,906	(91.1)	3,191	91	98		1
呼吸器外科	434	(91.2)	476	14	14		
整形外科	114	(32.1)	355	2	3		
心臓血管外科	0	(-)	0				
脳神経外科	154	(69.4)	222	15	25		
麻酔科	0	(-)	0				
眼科	0	(0.0)	104				
皮膚科	130	(78.3)	166	1	1		
泌尿器科	1,108	(79.8)	1,389	26	27	1	1
婦人科	1,077	(78.3)	1,376	17	18		
放射線科	268	(97.5)	275	1	1		
合計	9,133		11,120	348	399	11	12

表6 2010年病類別（大分類）在院日数別患者数

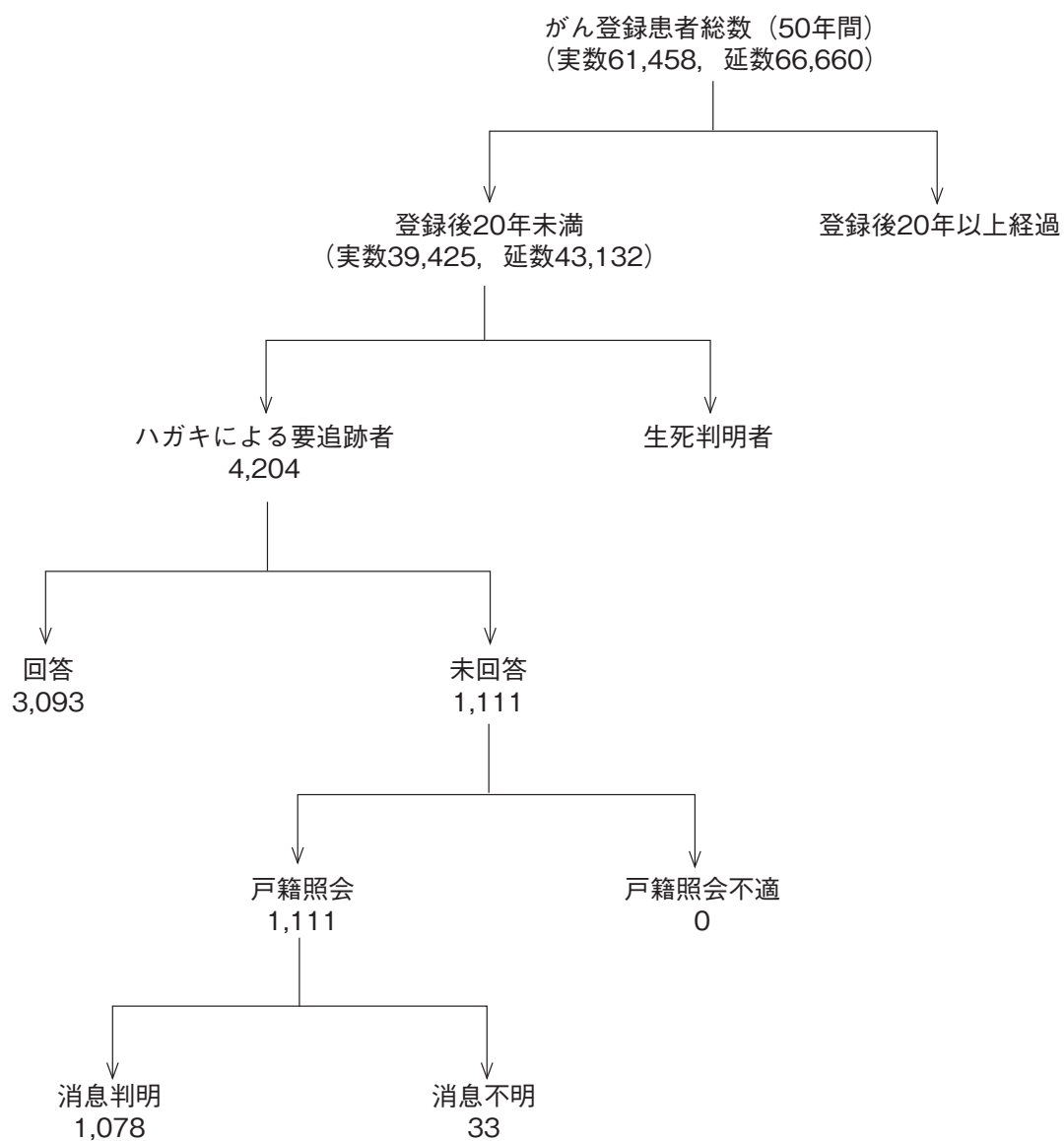
疾病大分類 \ 在院日数	計	1～7日	～14日	～30日	～90日	～180日	～181日 以上	平均在院 日 数
合 計	11,120	4,905	2,935	2,276	920	71	13	13.6 (151,745)
I 感染症および寄生虫症	47	21	13	10	3	0	0	11.4 (538)
II 新生物	9,505	4,016	2,562	2,026	825	64	12	14.1 (133,956)
III 血液および造血系の疾患ならびに 免疫機構の障害	27	8	11	5	3	0	0	16.2 (437)
IV 内分泌，栄養および代謝疾患	42	9	25	6	2	0	0	11.9 (499)
V 精神および行動の障害	3	1	1	0	1	0	0	22.0 (66)
VI 神経系の疾患	21	10	5	5	1	0	0	10.2 (214)
VII 眼および付属器の疾患	99	93	5	1	0	0	0	5.1 (507)
VIII 耳および乳様突起の疾患	11	7	4	0	0	0	0	6.6 (73)
IX 循環器系の疾患	200	109	48	36	7	0	0	9.5 (1,895)
X 呼吸器系の疾患	176	59	47	50	18	1	1	16.7 (2,935)
XI 消化器系の疾患	262	102	89	57	13	1	0	12.7 (3,318)
XII 皮膚および皮下組織の疾患	40	17	18	5	0	0	0	9.1 (365)
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患	70	9	11	25	23	2	0	28.4 (1,990)
XIV 尿路性器系の疾患	426	347	62	15	2	0	0	4.8 (2,024)
XV 妊娠，分娩および産じょく＜褥＞	2	0	1	1	0	0	0	14.5 (29)
XVI 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XVII 先天奇形，変形および染色体異常	2	0	2	0	0	0	0	11.0 (22)
XVIII 症状，徴候および異常臨床所見・異 常検査所見で他に分類されないもの	57	38	9	8	1	1	0	9.9 (564)
XIX 損傷，中毒およびその他の外因の 影響	113	42	22	26	21	2	0	19.8 (2,240)
XX 傷病および死亡の外因	0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)
XVI 健康状態に影響をおよぼす要因お よび保健サービスの利用	17	17	0	0	0	0	0	4.3 (73)
XIX 特殊目的用コード	0	0	0	0	0	0	0	0.0 (0)

() 延日数

良性平均在院日数 11.0 (総日数 17,789)

悪性平均在院日数 14.1 (総日数 133,956)

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{退院患者の入院延日数}}{\text{退院患者延数}}$$



予 後 判 明 率 : $39,392 / 39,425 = 99.92\%$

予後調査対象 : 2010年までの20年間に登録され、最近1年間の受診歴がない患者

図4 2012年の予後調査結果